

コルコバードのキリスト像  
ブラジル・リオデジャネイロ

ブラジル・ロシア特集!

赤の広場  
ロシア・モスクワ

今年、話題のブラジルとロシア!  
三重大学とブラジル・ロシアの関係とは?

三重大学は、かねてよりブラジル・サンパウロ大学、ロシア・ハバロフスク国立経済法律アカデミーと各教員レベルで研究上の交流がありましたが、近年になり、サンパウロ大学と学部間協定、ハバロフスク国立経済法律アカデミーと大学間協定を締結しました。協定締結後は、以下のような様々な交流が実施されており、三重大学とブラジル・ロシアのつながりがますます盛んになってきています。

これからの交流にも  
目が離せないね!



「ESD in 三重2014」に  
ハバロフスク国立経済法律  
アカデミーの学生を招聘予定  
2014.11.4—11.12



※ESD…持続発展教育

医学科の学生を  
サンパウロ大学へ派遣予定  
2014.4—



2014

第20回 3大学国際  
ジョイントセミナー&シンポジウム  
2013.10.28—11.1



サンパウロ  
大学での講義  
2013.9.15—11.18



詳しくは、  
えつくす特別号  
2013を見てね!



学長一行  
南北アメリカ出張  
全学協定締結に向けて  
「国際協力に関する  
基本合意書」を締結  
2013.8.12—8.24



2012

第20回 3大学国際ジョイントセミナー&  
シンポジウムへの参加を通じて

ハバロフスク国立経済法律アカデミー  
LEBUKHOV VLADIMIR 教授  
ZEMLIAK KIRILL 助教

2010年10月に大学間協定を締結して以来、本学と三重大学は交流を深めてきましたが、本年はとくに三重大学で開催された第20回3大学国際ジョイントセミナー&シンポジウムへ初めて参加しました。本大会では、各分野の研究の動向をしっかりと捉えることができたうえ、その発展のために真摯に向き合うことの重要性が示された非常に意義のあるものでした。それもすべて三重大学が世界中から参加した学生や教員らが互いに協力関係を築けるよう、サポートしてくれたおかげだと感謝しています。今回の参加学生が将来、専門家になることもあると思いますが、本大会での発表を通じ、今後の課題にどのような覚悟をもって取り組むべきか、深く考えられたことは貴重な体験でしょう。次回はぜひ本校からも発表者として学生を派遣したいと考えています。

また会期中には三重大学へ留学中のロシア人学生たちに会いましたが、彼らは三重大学は世界でもっとも素晴らしい大学のひとつだと述べていました。そのような場所で、最新の知識を吸収し、新しい友達と出会うチャンスを得たことは非常に幸せなことです。今後、両校の交流をさらに深めていきたいと改めて思いました。(本稿はLEBUKHOV教授ならびにZEMLIAK助教より寄せられた英文メッセージを要約・和訳しました。)

サンパウロ大学での講義

三重大学人文学部 尾西 康充 教授

2013年9月15日から11月18日まで、国際交流基金の支援を得て、サンパウロ大学哲学・文学・人間科学部附属日本文化研究所に、日本文学・日本文化専攻の客員教授として、派遣されました。



サンパウロには、ヘリコプターで出勤する銀行重役たちとは対照的に、市内10カ所に貧民窟が存在します。経済発展の裏で、生活の格差が拡大し、市中央や大学構内では、格差を是正し、社会の民主化を求める大規模なデモやストライキが頻発しています。そこで、講義のテーマは「格差社会という視点から読む近代日本文学」に設定しました。耽美的な志向の強い日本文学の作品はポルトガル語訳があります。しかし、プロレタリア文学や戦争文学などの社会的な問題意識の高い小説はほとんどが翻訳されていません。ブラジルでは仕事をしながら研究を続ける院生が多く、私が担当した大学院の講義のなかで、彼らは切実な気持ちで、それらの作品を読み深めました。

今回の派遣をきっかけにして、サンパウロ大学と三重大学との研究協力の連携が強化されることを願っています。なお、ブラジルの日系人をつなぐ邦字紙「ニッケイ新聞」の編集長は、人文学部2期生の深沢正雪氏です。サンパウロの東洋人街にある社屋で日夜奮闘中です。



学長一行  
ロシア・中国・韓国出張  
2011.8.16—8.23



サンパウロ大学との  
協定締結  
2011.5.16

2011

2010  
ハバロフスク  
国立経済法律  
アカデミーとの  
協定締結  
2010.10.15





人文学部・特別聴講生  
**MELO MARINA**  
メロ・マリーナ  
【在籍大学】  
サンパウロ大学  
指導教員/藤本 久司 准教授

メロ・マリーナさんは、ブラジルのサンパウロ大学の学生で、交換留学制度を利用して三重大学に留学しています。サンパウロ大学から初となる三重大学への交換留学生。2013年4月から1年間、三重大学で日本語を学んでいます。

★ 三重大学を選んだ理由を教えてください。

サンパウロ大学は、三重大学をはじめ多くの日本の大学と交流協定を結んでいます。三重は小規模な都市であるため、人と人とのつながりが密接で、日本語をたくさん勉強できると思い、三重大学を選びました。

コラム

【すぐ使える日常会話】  
バモス トマル ウマ セルベジン  
Vamos tomar uma cervejinha?  
⇒飲みに行きませんか?  
オラ  
Ola! ⇒ (サッカーの応援の時に使います)



黒豆や豚肉などを煮込み、塩、コショウ、オレガノ、パセリ、にんにくなどで味付けをするんだよ!



ブラジルの伝統料理「フェジョアーダ」

★ 三重大学とサンパウロ大学で異なっている点はどうですか。

サンパウロ大学は、三重大学と比べると非常に広大で、端まで行こうとするとバスで30分以上かかります。しかし、三重大学ほど花は咲いていません。三重大学は所々に花が咲いていてとても綺麗です。花を見つけるたびに写真を撮ってしまいますね。

★ 日本とサンパウロ大学の関係について教えてください。

日本文化などを研究している日本学科には約60名の学生が在籍しており、キャンパスの中には、日本文化の家や日本国政府が建てた大図書館があります。また、2013年9月から11月の3か月間、人文学部の尾西康充教授がサンパウロ大学で講義を行いました。

★ 2014年のワールドカップについてどのように考えていますか。

ブラジルが優勝します!皆盛り上がっています。ブラジル代表の公式戦が行われる日は、会社と学校は休みになり、国が一体となっ

て応援します。ワールドカップの期間は休みが増えるので嬉しいですね。

★ ブラジルについてPRしたいことを教えてください。

イグアスの滝や奴隷制時代の文化・食事・宗教の名残を留めるバイア州は、日本の皆さんにぜひ見ていただきたいですね。

マリーナさんのブラジル講座

“飛行機の発明者!”



日本ではあまり有名ではないかもしれませんが、飛行機の発明者は、ブラジル人のアルベルト・サントス・デュモンとされています。

ブラジル・ロシアの留学生に 突撃インタビュー!!

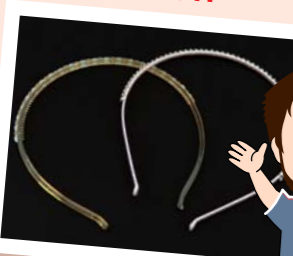


2人とも日本語でインタビューに答えてくれたよ!

三重大学に留学中の2人の学生に、三重大学のことや今話題のオリンピックやワールドカップについて話を聞いてきました!

フョードルさんのロシア講座

“カチューシャ!”



「カチューシャ」は、ロシア人女性の名前である「エカチェリーナ」のニックネームです。トルストイの小説を通じて日本へ来たと言われていますが、ロシアでは髪留めの意味はありません。

2007年から2008年まで日本語・日本文化研修留学生として三重大学での留学を経験したクバーソフ・フョードルさん。ロシアのサンクトペテルブルク国立大学を卒業後、2012年に再来日し、現在人文社会科学研究科で日本文化について研究しています。

★ 三重大学に留学を決めた理由を教えてください。

幼い頃、アメリカ製や台湾製の本・アニメの中に登場した忍者を見たことが、日本文化に興味を持ったきっかけです。サンクトペテルブルク国立大学では、東洋学部東洋諸国歴史学科に所属し、日本についての知識を深めました。三重には、忍者で有名な伊賀があることを知り、三重大学への留学を決めました。

★ 三重大学の印象はどうか。

キャンパスが町に点在しているサンクトペテルブルク国立大学と違い、三重大学のキャンパスは一つにまとまっているので、他学部との交流が図れることが良いと思います。また、人文学

部の山田雄司教授が定期的に行っている古文書を読む読書会など興味深いイベントがあり、日本文化を学ぶための環境が整っていると思います。

★ 2014年のソチオリンピックについてどのように考えていますか。

ロシアのイメージを向上させる良い機会だと思います。しかし、オリンピックを開催することは新たな施設を作ることになりますので、環境破壊が心配されます。元々そこに住んでいた人々にとって、住みやすくなるかどうかを考える必要があると思います。

★ 読者の方へメッセージをお願いします。

日本からロシアへの渡航にはビザが必要であるなど、ロシアは近くて遠い国というイメージがあるかもしれません。この記事をきっかけにロシアに親しみを持ってもらい、少しでもロシアのことを知っていただけたら嬉しいです。



人文社会科学研究科・研究生  
**KUBASOV FEDOR**  
クバーソフ・フョードル  
【出身大学】  
サンクトペテルブルク国立大学  
指導教員/山田 雄司 教授

コラム

【すぐ使える日常会話】  
ストラストヴィッチェ  
Здравствуй (Zdravstvuyte)  
⇒こんにちは  
спасибо (Spasibo) ⇒ありがとう



ユニークな生物が生息するバイカル湖。1996年、世界自然遺産に登録



サンクトペテルブルクにあるエルミタージュ美術館。世界三大美術館の一つ